

防災ハザードマップの使い方

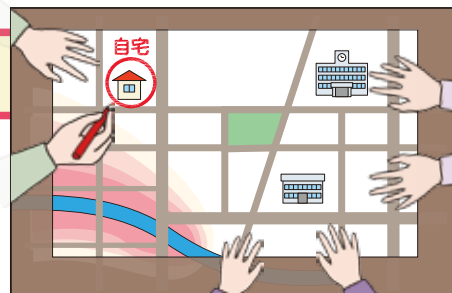
四街道市防災ハザードマップでは、想定される地震の震度分布図や集中豪雨・長雨や台風に伴う豪雨などにより被害を受ける危険性が高い土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域を示す地図に加え、災害の備え、災害発生時の行動などについて分かりやすく掲載しています。

チェック

1

自宅の位置を確認する

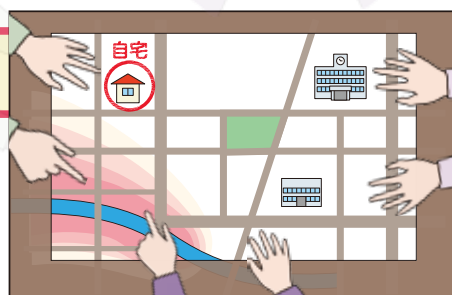
まず、自宅の位置に印をつけましょう。



2

浸水や土砂災害などの危険区域を確認する

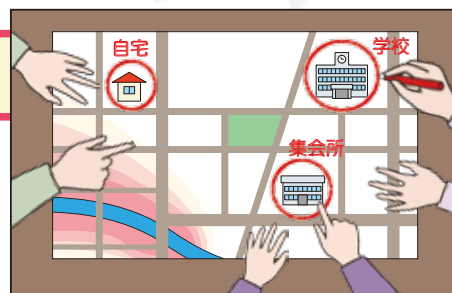
自宅周辺が災害の危険区域になっていないか確認してください。



3

避難する場所を確認する

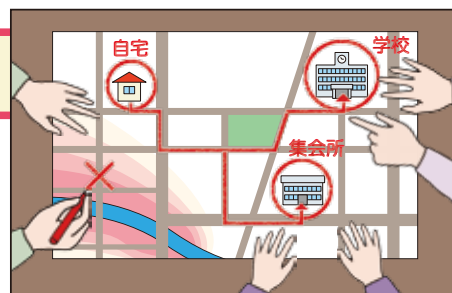
災害の状況に応じて、市は開設する指定避難所を決定し避難を促します。特に、震災の場合は原則、全避難所を開設することから、32ページの「避難所等一覧」「避難所割振計画(市ホームページ)」などを確認し、どこに避難するのか、あらかじめ確認しておきましょう。



4

安全な避難経路を考える

指定緊急避難場所・指定避難所までの経路を考えましょう。早めに避難するのが一番ですが、すでに荒天となってしまった場合は「浸水の危険のある場所」を避ける、地震による避難の場合は「ブロック塀等の危険な場所を避ける」など、安全な経路を見つけておきましょう。



5

避難について家族や近所の人と話し合う

「周辺の危険箇所」「避難する場所」「避難経路」などについて、家族や近所の人と話し合っておきましょう。いざというときには、慌てず、声を掛け合って、最善の避難行動がとれるように心構えをしておきましょう。

6

自分たちの目で避難経路を確認する

指定緊急避難場所・指定避難所までの経路を、実際に家族や近所の人たちと歩いてみましょう。マップ上では気が付かなかった危険箇所や注意点など記録しておきましょう。



7

避難時の持ち出し品などを準備しておく

33ページの「備蓄品および非常時持ち出し品」を参考に、避難するときの持ち出し品など、必要なものを準備しておきましょう。



※各ハザード情報は、一定の条件に基づき予測されたものであり、実際の災害時は想定を超える可能性があります。